



9月1日は

災害から身を守るために行動を確認しましょう

問 総務課 0176-51-6703

8月～10月は、台風や大雨が多く、災害が起こりやすい季節です。災害から身を守るため、事前にお住まいの地域の危険な場所や避難先を確認するとともに、災害・気象情報などに注意しましょう。



防災マップで危険な場所を確認

市で配布した防災マップには、洪水、土砂災害、地震、火山の災害に関する情報や対策のほか、防災情報の収集方法、非常時持出品などについても掲載しています。

防災マップは市ホームページからも見ることができますので、自宅や勤務先などの避難所や避難経路を確認しておきましょう。

▲防災マップは
こちらから

家族で確認～避難のタイミングと避難行動～

災害時は、電話がつながりにくくなり、家族などとの連絡が難しい状況も予想されます。災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板を活用するとともに、日頃から避難のタイミングや避難行動を確認しておきましょう。

▲災害用伝言ダイヤル
はこちらから

■避難のタイミング

警戒レベル	住民が取るべき行動	避難情報等
5	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
警戒レベル4までに必ず避難		
4	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
2	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報
1	災害への心構えを高める	早期注意報

出典：内閣府「避難情報のポイント」

■避難行動

避難行動には「立ち退き避難（水平避難）」と「垂直避難」があります。状況に応じた避難行動を取りましょう。

立ち退き避難（水平避難）



危険な場所から避難所や親戚・知人宅などの安全な場所へ避難。

垂直避難



洪水や浸水などで移動が困難な場合に、自宅や近くの建物の2階以上の高い場所で安全を確保。

災害の発生に備え、関係機関と協定を締結しています

大規模な災害が発生した場合、市や防災関係機関のみでは、十分な対応ができないことが想定されるため、市では迅速かつ的確な災害対応が実施できるよう、生活必需品や食料、資機材などさまざまな分野で協定を締結しています。

▲協定について詳しくは
こちらから

宿泊施設「奥入瀬溪流温泉 灯と楓」と協定を締めました

「八戸市民保養所 洗心荘」の閉鎖を受け、3月に同施設を市の指定避難所として使用する協定を締めました。

奥入瀬溪流温泉 灯と楓
清水慶展 代表取締役

当施設は土砂災害警戒区域ではない立地条件にあり、奥入瀬溪流温泉エリアに公共の避難所が必要と考え協定を締めました。

小さな宿ではありますが、災害時には地域を皆さんと共に支え合い、住民や観光客が安心して避難できる施設を目指しています。

自主防災組織をつくりましょう

災害が発生したとき、お互いに助け合うため、日頃から地域で防災活動に取り組む組織を「自主防災組織」といいます。自分たちの命は自分たちで守るために、自主防災組織をつくり、地域の防災力を高めましょう。

市では設立を支援しています

新たな自主防災組織の設立のために次の三つの支援をしています。

- 防災用資機材の購入補助
- 防災士養成講座（無料）の開催
- 防災計画などの作成支援

自主防災組織について
詳しくは
こちらから▶